



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社
 コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 新宅 祐太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 丸田 正行 TEL 03-6742-8550
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	363,201	5.2	52,869	9.6	58,689	17.6	33,426	△9.4
26年3月期第3四半期	345,260	16.7	48,251	13.2	49,919	23.4	36,896	49.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 91,204百万円 (9.2%) 26年3月期第3四半期 83,517百万円 (104.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	88.02	87.40
26年3月期第3四半期	97.16	97.15

(注) 当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	1,027,606	578,726	56.3	1,523.82
26年3月期	832,814	496,245	59.6	1,306.72

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 578,663百万円 26年3月期 496,225百万円

(注) 当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、「1株当たり純資産」につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
27年3月期	—	14.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	14.50	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年3月期および平成27年3月期(予想)における配当金につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	488,000	4.4	64,000	△2.0	62,000	△2.8	33,500	△1.7	88.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

・年間想定レート：1ドル=100円、1ユーロ=140円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、[添付資料]5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	379,760,520株	26年3月期	379,760,520株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	15,174株	26年3月期	11,324株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	379,745,900株	26年3月期3Q	379,752,758株

（注）当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年12月31日まで）における医療市場を概観すれば、海外は、米国で医療機関の設備投資・稼働率の回復が見られますが、欧州・新興国では医療費抑制の動きや価格圧力が依然継続しています。国内は11月25日に医薬品医療機器等法、再生医療等安全性確保法が施行され、安全対策の強化、審査の迅速化、また世界に先駆けた革新的医薬品・医療機器の創出や再生医療の実用化へ向けた環境整備が進んでいます。当社においても、この新法に則り、虚血性心疾患による重症心不全を対象とした骨格筋芽細胞シートについて、再生医療等製品として製造販売承認申請を行いました。

このような環境の下、当社グループでは「世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、カンパニー経営を軸に、持続的かつ収益性のある成長を目指して経営を推進しております。各カンパニーにおける主なポイントは以下の通りです。

- 心臓血管カンパニーは、海外におけるカテーテルシステムやニューロバスキュラー事業が二桁の伸長、加えて第1四半期に欧州で販売を開始した薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster」が順調に拡大しました。
- ホスピタルカンパニーは、第3四半期に収益性の高い糖尿病関連や製薬企業向けB2Bビジネスの売上が増加したことで、ポートフォリオミックスが改善され収益性が向上しました。
- 血液システムカンパニーは、欧米において厳しい環境が続きましたが、血液自動製剤システムやアフレスシ治療が海外で引き続き伸長しました。

第1四半期連結会計期間より、カンパニー経営の進化に伴い、従来の報告セグメントである「心臓血管事業」「ホスピタル事業」「血液システム事業」をそれぞれ「心臓血管カンパニー」「ホスピタルカンパニー」「血液システムカンパニー」に名称変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

また、当社グループは、海外子会社の業績管理区分を一部見直したため、平成26年10月1日より、連結子会社であるハーベストテクノロジーズCorp. およびハーベストテクノロジーズGmbHに係る収支を、従来の「心臓血管カンパニー」から「血液システムカンパニー」の報告セグメントに含めて記載する方法に変更しております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

<売上高>

売上高は、前年同期比5.2%増の3,632億円となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	345,260	363,201	5.2	1.2
売上総利益	178,661	190,678	6.7	2.1
営業利益	48,251	52,869	9.6	4.9
経常利益	49,919	58,689	17.6	—
四半期純利益	36,896	33,426	△9.4	—

(単位：百万円)

地域別売上高	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日本	142,110	138,922	△2.2	△2.2
欧州	70,197	78,397	11.7	4.9
米州	81,980	90,884	10.9	3.6
アジア他	50,972	54,996	7.9	2.0
海外計	203,150	224,278	10.4	3.7
合計	345,260	363,201	5.2	1.2

国内は、心臓血管カンパニーとホスピタルカンパニーの薬価・公定価改定の影響、血液システムカンパニーでは献血数の減少傾向も受け、前年同期比2.2%減の1,389億円となりました。一方、海外では欧米およびアジアでのカテーテルシステム、ニューロバスキュラー事業の拡大、血液システムカンパニーも引き続き堅調であったことから、前年同期比10.4%増の2,243億円となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、国内の薬価・公定価改定の影響がありながら、国内を中心とした製造原価の改善および、国内外で高付加価値品の拡大もあり、前年同期比6.7%増の1,907億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、売上総利益の増加に加え、第2四半期に続き、主に販促費や物流費といった費用を適切にコントロールした結果、前年同期比9.6%増の529億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、営業利益の増加と円安を受けた為替差益によって、前年同期比17.6%増の587億円となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は、欧州におけるホスピタル事業ポートフォリオ改革に伴う事業再編損等により、前年同期比9.4%減の334億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

なお、前第3四半期連結累計期間の調整額は、平成25年3月期に事業譲渡した在宅酸素・輸液ポンプ事業および、平成26年3月期に戦略的提携を行った次世代型補助人工心臓システム等に係る売上高であります。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上高	152,839	168,041	9.9	4.3
	(国内)	36,769	35,997	△2.1	△2.1
	(海外)	116,070	132,043	13.8	6.4
ホスピタルカンパニー	売上高	123,911	122,466	△1.2	△2.4
	(国内)	95,634	93,716	△2.0	△2.0
	(海外)	28,277	28,749	1.7	△3.9
血液システムカンパニー	売上高	68,541	72,693	6.1	0.9
	(国内)	9,707	9,207	△5.2	△5.2
	(海外)	58,833	63,486	7.9	1.9
調整額	売上高	△31	—	—	—
	(国内)	△1	—	—	—
	(海外)	△30	—	—	—

<心臓血管カンパニー>

国内では、ニューロバスキュラー事業の新製品を中心に売上を拡大しましたが、カテーテルシステムなどで公定価改定の影響があり前年同期比で2.1%の減収となりました。海外ではカテーテルシステムのTRI（手首の血管から冠動脈にアプローチするカテーテル手技）が欧米やアジアで好調に推移し、ニューロバスキュラー事業は各地域で引き続き堅調でした。

その結果、心臓血管カンパニーの売上高は前年同期比9.9%増の1,680億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

国内では、薬価改定や、消費税引き上げおよび医療保険制度の改定による影響があり、前年同期比2.0%の減収となりました。海外では製薬企業向けB2Bビジネス、糖尿病関連が拡大し、前年同期比で1.7%増となりました。

その結果、ホスピタルカンパニーの売上高は前年同期比1.2%減の1,225億円となりました。

<血液システムカンパニー>

国内では献血数の減少による需要変動の影響もあり減収となりました。一方、海外では全血採血関連、成分採血システム、アフエレンシス治療、それぞれで好調に推移しました。

その結果、血液システムカンパニーの売上高は前年同期比6.1%増の727億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ1,948億円増加して10,276億円となりました。

流動資産は、転換社債型新株予約権付社債の発行及び為替影響等により、1,355億円増加して4,464億円となりました。

固定資産は成長投資および為替影響等により、576億円増加して5,779億円となりました。有形固定資産は生産投資等により190億円増加、無形固定資産は334億円増加、投資その他の資産は51億円増加となりました。

(負債)

負債の部は、転換社債型新株予約権付社債の発行等により、1,123億円増加して4,489億円となりました。

(純資産)

純資産の部は、825億円増加して5,787億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ3.3ポイント減少し、56.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

医療機器を取り巻く環境変化など、今後も不透明な状況が続きますが、連結業績予想について変更はありません。

当社グループは、このような事業環境の中、目標を達成するため、医療経済性の向上に貢献できる高付加価値製品の導入および拡大、さらなる製造原価の改善への取り組みや徹底した販管費の効率運用などに努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が3,509百万円増加し、利益剰余金が2,258百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ474百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	95,618	119,658
受取手形及び売掛金	101,520	109,398
有価証券	—	90,000
たな卸資産	93,966	105,324
繰延税金資産	12,340	13,474
その他	8,933	10,265
貸倒引当金	△1,394	△1,681
流動資産合計	310,985	446,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	54,215	61,379
機械装置及び運搬具(純額)	43,916	45,885
土地	21,757	22,048
リース資産(純額)	406	839
建設仮勘定	27,974	36,346
その他(純額)	9,483	10,291
有形固定資産合計	157,755	176,791
無形固定資産		
のれん	154,161	170,588
顧客関連資産	93,968	105,185
その他	56,626	62,376
無形固定資産合計	304,756	338,150
投資その他の資産		
投資有価証券	37,954	44,631
繰延税金資産	5,323	264
退職給付に係る資産	2,573	5,260
その他	11,969	12,802
投資その他の資産合計	57,820	62,958
固定資産合計	520,332	577,900
繰延資産		
繰延資産合計	1,496	3,265
資産合計	832,814	1,027,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,147	37,979
短期借入金	260	423
1年内返済予定の長期借入金	4,652	5,440
リース債務	225	162
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	18,401	9,706
繰延税金負債	94	63
賞与引当金	4,849	2,715
役員賞与引当金	109	90
設備関係支払手形及び未払金	8,425	7,787
その他	45,769	49,167
流動負債合計	160,936	153,536
固定負債		
社債	40,000	40,000
転換社債型新株予約権付社債	—	100,245
長期借入金	76,769	84,658
リース債務	299	276
繰延税金負債	47,795	52,159
役員退職慰労引当金	66	66
退職給付に係る負債	3,124	4,395
資産除去債務	220	232
その他	7,354	13,308
固定負債合計	175,632	295,343
負債合計	336,568	448,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	52,103	52,103
利益剰余金	353,600	378,272
自己株式	△24	△33
株主資本合計	444,396	469,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,269	15,481
繰延ヘッジ損益	△2	—
為替換算調整勘定	43,377	96,949
退職給付に係る調整累計額	△2,816	△2,827
その他の包括利益累計額合計	51,828	109,603
新株予約権	20	62
純資産合計	496,245	578,726
負債純資産合計	832,814	1,027,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	345,260	363,201
売上原価	166,599	172,522
売上総利益	178,661	190,678
販売費及び一般管理費	130,409	137,808
営業利益	48,251	52,869
営業外収益		
受取利息	287	378
受取配当金	226	247
受取ロイヤリティー	81	124
為替差益	4,664	8,098
持分法による投資利益	96	10
その他	776	989
営業外収益合計	6,131	9,848
営業外費用		
支払利息	1,124	896
売上割引	479	513
たな卸資産処分損	75	239
その他	2,784	2,378
営業外費用合計	4,464	4,028
経常利益	49,919	58,689
特別利益		
固定資産売却益	7	490
事業譲渡益	299	—
債務勘定整理益	—	1,974
受取和解金	6,000	—
特別利益合計	6,307	2,465
特別損失		
固定資産処分損	216	419
減損損失	561	1,450
関係会社整理損	—	549
事業再編損	—	6,420
役員退職慰労金	33	—
事業整理損	881	—
特別損失合計	1,693	8,839
税金等調整前四半期純利益	54,533	52,315
法人税、住民税及び事業税	18,041	21,133
法人税等調整額	△434	△2,243
法人税等合計	17,606	18,889
少数株主損益調整前四半期純利益	36,926	33,426
少数株主利益	30	—
四半期純利益	36,896	33,426

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	36,926	33,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,450	4,211
繰延ヘッジ損益	△16	2
為替換算調整勘定	42,158	53,571
退職給付に係る調整額	—	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	3
その他の包括利益合計	46,590	57,778
四半期包括利益	83,517	91,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,530	91,204
少数株主に係る四半期包括利益	△13	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	152,839	123,911	68,541	345,292	△31	345,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	152,839	123,911	68,541	345,292	△31	345,260
のれん等償却除くセグ メント利益	32,010	16,215	13,775	62,000	△1,618	60,382
セグメント利益	30,587	16,215	3,068	49,870	△1,618	48,251
のれん等償却除くセグ メント利益率 (%)	20.9	13.1	20.1	18.0	—	17.5

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,618百万円には、たな卸資産の調整額△626百万円、その他△992百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては561百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	168,041	122,466	72,693	363,201	—	363,201
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	168,041	122,466	72,693	363,201	—	363,201
のれん等償却除くセグ メント利益	34,088	16,497	14,225	64,811	972	65,783
セグメント利益	32,677	16,497	2,722	51,897	972	52,869
のれん等償却除くセグ メント利益率(%)	20.3	13.5	19.6	17.8	—	18.1

(注) 1. セグメント利益の調整額972百万円には、たな卸資産の調整額△478百万円、その他1,450百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,450百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの区分方法の変更）

当社グループは、海外子会社の業績管理区分を一部見直したため、平成26年10月1日より、連結子会社であるハーベストテクノロジーズCorp. およびハーベストテクノロジーズGmbHに係る収支を、従来の「心臓血管カンパニー」から「血液システムカンパニー」の報告セグメントに含めて記載する方法に変更しております。

（報告セグメントの名称変更）

第1四半期連結会計期間より、カンパニー経営の進化に伴い、従来の報告セグメントである「心臓血管事業」「ホスピタル事業」「血液システム事業」をそれぞれ「心臓血管カンパニー」「ホスピタルカンパニー」「血液システムカンパニー」に名称変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

（事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更）

前第4四半期連結会計期間より、平成25年3月期に事業譲渡した在宅酸素・輸液ポンプ事業および、平成26年3月期に戦略的提携を行った次世代型補助人工心臓システム等に関わる売上高・費用に関して、これらを調整額へ含める方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、これらの変更を反映したものを開示しております。これにより従来の方法によった場合に比べ、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益が「心臓血管カンパニー」で505百万円増加し、「ホスピタルカンパニー」で3百万円減少し、「血液システムカンパニー」で26百万円増加し、「調整額」で528百万円減少しております。